

2013年度

# 在宅看護実習

[表紙 1]

【提出記録用紙】

- 1 実習評価表
- 2 在宅看護実習記録<様式1>
- 3 レポート
- 4 事前学習及び自己学習した内容
- 5 出席表

学生証番号： K F \_\_\_\_\_

学生氏名： \_\_\_\_\_

実習期間： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

実習施設名： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

担当教員名： \_\_\_\_\_

指導者名： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

看護学科3年 専門教育科目

2013年度

# 在宅看護実習

[表紙2]

【提出記録用紙】

- 6 訪問先リスト<様式2>
- 7 在宅看護事例記録<様式3>

学生証番号： K F \_\_\_\_\_

学生氏名： \_\_\_\_\_

実習期間： \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ~ \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

実習施設名： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

担当教員名： \_\_\_\_\_

指導者名： \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

看護学科3年 専門教育科目



授業科目名：在宅看護実習

単位／時間：2単位／90時間

対象／開講：11KF／通年

担当教員：中田 芳子、新村 直子

### 実習目的：

地域での看護活動の実際をとおして、保健医療福祉に携わる人々の相互の連携と看護の役割と責任について理解することができる。

### 中核目標：

1. 在宅で生活する人々や家族の自己決定権を尊重しながら、その人らしい生活を支援することの重要性が理解できる。
2. 訪問看護実習、外来実習及び保健関連施設実習などの体験をとおして看護の継続について考えることができる。
3. 保健医療福祉従事者の相互連携や協働の必要性が理解でき、看護の役割と責任について理解できる。
4. 実習をとおして自己の人間観、看護観、健康観を育むことができる。

中核目標 1. 在宅で生活する人々や家族の自己決定権を尊重しながら、その人らしい生活を支援することの重要性が理解できる。

行 動 目 標

- (1) 在宅療養者と家族の生活を尊重した支援の実際を知る。
- (2) 在宅療養者や家族と看護師との援助関係について理解できる。
- (3) 在宅療養者と家族の状況を様々な視点から、アセスメントする必要性が理解できる。
- (4) 在宅療養者や家族と共に考え、創意工夫しながら看護していくことの必要性が理解できる。
- (5) 在宅での看護計画、実践、評価の実際を知り、在宅看護の特徴が理解できる。
- (6) 在宅療養者及び家族の自己決定を尊重した関わりの必要性について、考えることができる。

中核目標 2. 訪問看護実習、外来実習及び保健関連施設実習などの体験をとおして看護の継続について考えることができる。

行 動 目 標

- (1) 外来看護における病棟や地域等との看護の継続について理解できる。
- (2) 入退院センターの役割や看護師の活動を見学して看護の継続について考えることができる。
- (3) 訪問看護施設における病院との看護の継続について理解できる。
- (4) 看護の継続のために看護師がどのような役割を果たしているか理解できる。
- (5) 看護の継続のあり方について考えることができる。

中核目標 3. 保健医療福祉従事者の相互連携や協働の必要性が理解でき、看護の役割と責任について理解できる。

行 動 目 標

- (1) 地域の保健医療福祉各分野で活躍している人々の活動の実際を知る。
- (2) 各分野での相互連携や協働の実際を知る。
- (3) 多職種との連携や協働の中での看護の役割と責任について理解できる。

中核目標 4. 実習をとおして自己の人間観、看護観、健康観を育むことができる。

行 動 目 標

- (1) 実習を通して自己の看護観を深め、広げることができる。
- (2) 実習を通して自己の日常生活を振り返り、健康の保持、増進について考えることができる。
- (3) 実習を通して自分の生き方や死などについて考えを深め、広げることができる。

## 1 訪問看護施設

NO	施設名	責任者	住所・連絡先	
1	医療法人社団藤和会 厚木佐藤病院 こまち訪問看護ステーション	所長 藤原 真由美	TEL:046-247-1310	〒243-0125 厚木市小野763-1
2	JA神奈川県厚生連 訪問看護ステーションいせはら	所長 木村 美佐子	TEL:0463-91-6192	〒259-1125 伊勢原市下平間700
3	医療法人社団三喜会 鶴巻訪問看護ステーション	管理者 藤田 明恵	TEL:0463-76-1515	〒257-0001 秦野市鶴巻北2-14-2
4	医療法人三思会 訪問看護ステーションさつき	所長 石井 由紀子	TEL:046-228-6556	〒243-0034 厚木市船子131-1
5	東芝健康保険組合 林間訪問看護ステーション	管理者 橋本 美智子	TEL:042-742-4132	〒228-0802 相模原市上鶴間7-9-1 東芝林間病院1階
6	医療法人社団三喜会 鶴巻訪問看護ステーションいせはら	所長 川崎 ひろみ	TEL:0463-90-3066	〒259-1132 伊勢原市桜台1-13-13 丸興ビル202
7	社団法人秦野伊勢原医師会 秦野訪問看護ステーション	管理者 加賀田 茂子	TEL:0463-81-5154	〒257-0031 秦野市曾屋11
8	おおいそ訪問看護ステーション	所長 都築 理絵	TEL:0463-60-3117	〒255-0003 大磯町大磯971
9	医療法人社団三喜会 鶴巻訪問看護ステーションしぶさわ	所長 伊藤 良美	TEL:0463-75-8905	〒257-0035 秦野市本町1-11-19
10	合同会社ハーモニーケアハーモニーケア訪問看護ステーション	所長 佐々木 美保子	TEL:0463-26-8068	〒257-0004 秦野市下大槻56-14
11	一般医療法人 宝命訪問看護リハビリステーション	管理者 金谷 益子	TEL:0463-97-1012	〒259-1132 伊勢原市桜台2-6-8 金山ハイツ202
12	特定医療法人仁厚会 仁厚会訪問看護ステーション	管理者 井元 万里子	TEL:046-221-3733	〒243-0018 厚木市中町3-9-8
13	一般医療法人 宝命訪問看護ステーション輝き	管理者 熊澤 玲子	TEL:0463-74-6852	〒259-1207 平塚市北金目1-8-29 アクシス301
14	株式会社 マザー湘南 訪問看護 そよかぜ	管理者 塚田 桂子	TEL:0467-53-9925	〒253-0061 茅ヶ崎市南湖5-10-6

## 2 保健関連施設

1	東海大学 湘南健康推進室	課長 岩瀬 淳 課長補佐 笠 富美子	TEL: 0463-58-1211 内線(2910)	〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南校舎 15号館2階
---	--------------	-----------------------	-------------------------------	--

## 3 外来

1	東海大学医学部附属病院外来	看護師長 磯 みどり	TEL: 0463-93-1211 内線(5733)	〒259-1193 伊勢原市下糟屋143
2	東海大学医学部附属病院入退院センター	看護師長 不動 公子	TEL: 0463-93-1211 内線(6161)	〒259-1193 伊勢原市下糟屋143

### Ⅲ 学習方法

在宅－4

#### 1 訪問看護実習施設別オリエンテーション 日時等に関しては別途説明する。

#### 2 事前学習

- (1) 在宅看護論Ⅱでの「外来看護の実践」授業資料（磯先生）を基に外来看護の役割等について学習する。
- (2) 実習する外来診療科に係る疾患、看護のポイントなどについて学習する。（詳細は別途説明する。）
- (3) 在宅看護論Ⅱでの「東海大学医学部付属病院における退院支援・退院調整～入退院センター（在宅支援係）について～」授業資料（加藤先生）を基に在宅支援係の看護師の役割について学習する。
- (4) 訪問時のマナー、コミュニケーションについては、講義や演習内容を復習し、ポイントをまとめて実習施設に持参する。
- (5) 介護保険に関しては十分学習し、常に参考にできるように実習施設に持参する。
- (6) 次の項目に関する情報に目を通し、常に参考にできるように実習場所に持参する。
  - ・訪問看護が行われる機関とその特徴
  - ・訪問看護ステーションに関する規定
  - ・医療保険で行われる訪問看護について
  - ・障害老人の日常生活自立度判定基準
  - ・身体障害者障害程度等級表
  - ・認知症老人の日常生活自立度判定基準 など
- (7) 実習する訪問関連施設の所在地の市町村の高齢者福祉、障害者（児）福祉に関する情報をインターネットで検索し、内容を理解しておく。
- (8) 実習する訪問関連施設を管轄する地域包括支援センターを確認しておく。また、地域包括支援センターの業務内容や役割について学習しておく。
- (9) 学校保健安全法、労働安全衛生法について授業の内容を復習しておく。  
\*なお、事前学習の内容は学内オリエンテーションの日に持参し、実習最終日にファイルに綴じて提出する。

#### 3 実習スケジュール

##### (1) 実習日程の一例

第一週	月	オリエンテーション	
	火	外来（午後：入退院センター）	カンファレンス
	水	外来	
	木	外来	カンファレンス
	金	保健関連施設	カンファレンス
第二週	月	訪問看護施設	
	火	訪問看護施設	
	水	訪問看護施設	
	木	訪問看護施設	カンファレンス
	金	共有学習・記録整理	

◎初日、最終日の集合時間は9時20分。場所は別に掲示する。

◎記録物及びレポートの提出は最終日の16時30分。

- (2) 実習時間は原則として8時30分～16時30分とする。但し施設毎に違う場合があるので、施設別オリエンテーションで説明された時間を厳守すること。
- (3) 施設ごとのカンファレンスの時間と内容は、指導者と調整して決定する。カンファレンスは学生が主体的に行なう。

#### 4 服装

- (1) 実習中は名札をつける。
- (2) 訪問看護ステーション実習時の服装は施設別オリエンテーション時に説明された内容となる。施設ごとに異なるので十分注意すること。  
・夏は暑いので、着替えを準備するとよい、冬は寒いので上着を準備する。
- (3) 訪問看護ステーションの行き帰りは学生らしい服装を着用する。
- (4) 外来、入退院センターは、ユニフォーム一式。
- (5) 東海大学湘南健康推進室の実習は、リクルートスーツに準じたもの。エプロンは大学から貸与したものを持参する。施設内では、ナースシューズに履き替える。

#### 5 記録物の記載

- (1) 療養者や家族のプライバシーに配慮して記載する。
- (2) 学外での毎日の実習状況は、在宅看護実習記録<様式1>に記載する。
- (3) 「本日の実習目標」は具体的に記述する。
- (4) 訪問先リスト<様式2>は訪問看護施設で訪問した事例について記載する。
- (5) 在宅看護事例記録<様式3>は訪問看護施設で訪問した2～3事例を取り上げて記載する。

#### 6 レポート

- (1) レポートのテーマは、「在宅看護実習から学んだこと」とし、必ずサブテーマをつける。
- (2) A4用紙2000～2500字程度、コンピュータ使用可
- (3) 参考、引用文献を記載する。
- (4) 表紙をつけ、左上に科目名、科目責任者名、中央にテーマ、右下に実習場所（3箇所）外来診療科目名、訪問看護施設名、保健関連施設名）、提出年月日、学生証番号と氏名を記載する。

#### 7 提出物

- (1) フラットファイル（A4）に綴じこんで提出するもの
  - a. ピンク色の表紙
  - b. 実習評価表
  - c. 在宅看護実習記録<様式1>の原本を実習2日目から順に並べて綴じる。
  - d. レポート
  - e. 事前学習及び自己学習した内容
  - f. 出席表

\*フラットファイルの表には実習名、科目責任者名、実習場所（3箇所）、学生証番号、学生氏名を記載する。

\*フラットファイルの背表紙には、学生証番号と氏名を記入する。
- (2) 別に綴じて提出するもの
  - a. 緑色の表紙
  - b. 訪問先リスト<様式2>
  - c. 在宅看護事例記録<様式3>  
\*左端に穴を開けて紐で結んで、ファイルにはさんで提出する。
- (3) 実習施設に提出していない在宅看護実習記録<様式1>は、両面コピーして、実習最終日16時30分までに提出する。



IV 単位及び評価

- (1) 2単位／90時間
- (2) 東海大学医療技術短期大学看護学実習に関する細則の規定により実習評価の対象は、原則として実習日数の3分の2以上出席した者とする。
- (3) 実習評価は、実習やカンファレンスへの取り組み態度・事前学習の状況・出席状況・記録・レポート・自己評価・指導者の意見等から科目責任者が、総合的に評価する。
- (4) 総合評価はS～Eで判定する。

## 1. 訪問看護ステーション実習

## (1) 実習目的・目標

## &lt;実習目的&gt;

在宅療養者と家族への援助活動をとおして、訪問看護における看護の役割と特徴について理解できる。

## &lt;実習目標&gt;

1. 療養者と家族の生活環境や生活習慣に合わせた援助を行うことの必要性が理解できる。
2. 療養者と家族の関係性や家族の役割を把握する必要性が理解できる。
3. 療養者と家族とともに考え、評価しながら援助することの必要性が理解できる。
4. 療養者と介護する家族の悩みや困難などについて理解し、援助する必要性が理解できる。
5. 療養者と家族を支援する制度が理解でき、多職種と連携の必要性について考えることができる。
6. 病院（病棟看護師や外来看護師等）との連携や継続看護のあり方について考えることができる。

## (2) 実習スケジュール等

各施設によって異なるので、施設別オリエンテーション、実習オリエンテーションで説明された内容を厳守すること。

## 2. 外来看護実習

## (1) 実習目標

- 1) 外来を利用する人々の特徴と看護の役割が理解できる。
  - ① 病院における外来の機能と役割が理解できる。
  - ② 外来における看護の役割が理解できる。
  - ③ 外来通院しながら生活している人々の思いやニーズを知ることができる。
- 2) 入退院センターにおける活動の実際を知り、看護職の役割が理解できる。
  - ① 病院における入退院センターの位置づけと役割が理解できる。
  - ② 入退院センターの看護師の役割が理解できる。
  - ③ 入退院センターの看護師の実際の活動をとおして継続看護について考えることができる。
- 3) 病棟と外来、外来と地域等の看護の連携の実際を知り、継続看護や他職種との連携について考えることができる。
  - ① 病棟での実習経験と関連させて継続看護の必要性について考えることができる。
  - ② 実習体験をとおして、継続看護や多職種との連携・協働について自己の考えを整理できる。

(2) 実習方法

- 1) 実習初日、外来師長、各診療科の外来看護師よりオリエンテーションを受ける。
- 2) 外来看護師の実践を見学しながら、看護の実際を理解する。
- 3) 各診療科の外来患者より、病気や生活などについて話を聞き、患者のニーズや思いを理解する。
  - ・看護師が同意を得た患者と話をする。
  - ・実習する診療科の事前学習を基に聞く内容をあらかじめ準備しておくこと。

(3) 実習スケジュール

< 1日目 >

- 8:40 入退院センター受付へ集合  
外来師長より外来の概略についてオリエンテーションを受ける  
8:50～9:00 各外来診療科にき、オリエンテーションを受ける

A チーム

- 9:00～13:00 各外来診療科実習  
(13:00～14:00 休憩)  
14:00～16:30 入退院センター実習 (13:55入退院センター受付に集合)

B チーム

- 9:00～12:00 各外来診療科実習  
(12:00～13:00 休憩)  
13:00～16:00 各外来診療科実習  
16:00～16:30 記録整理 (2号館3階医療短大 3H20教室)

< 2日目 >

B チーム

- 8:30～13:00 各外来診療科実習  
(13:00～14:00 休憩)  
14:00～16:30 入退院センター実習 (13:55入退院センター受付に集合)

A チーム

- 8:30～12:00 各外来診療科実習  
(12:00～13:00 休憩)  
13:00～16:00 各外来診療科実習  
16:00～16:30 記録整理 (2号館3階医療短大 3H20教室)

< 3日目 >

- 8:30 各科外来へ集合  
8:30～12:00 各外来診療科実習  
13:00～14:20 外来エリアの探索 (2～3人のグループで外来棟を自主的に見学する)  
14:30～15:00 カンファレンス テーマ: 外来のアメニティ (環境の快適性)  
15:00～16:00 // テーマ: 外来実習での学び  
16:00～16:30 記録整理  
\*カンファレンス及び記録の場所は、2号館3階医療短大 3H20教室

(4) その他

- ・外来実習の際は、在宅看護論Ⅱでの「外来看護の実際」授業資料(磯先生)を持参する。
- ・在宅支援係実習の際は、在宅看護論Ⅱでの「東海大学医学部付属病院における退院支援・退院調整～入退院センターについて～」授業資料(加藤先生)を持参する。

(1) 実習目標

1. 大学における保健活動の概要・特徴が理解できる。
  - 1) 湘南健康推進室の役割について理解できる。
  - 2) 学生・教職員に対する健康管理活動が把握できる。
  - 3) 大学における環境管理が把握できる。
  - 4) 学生・教職員に対する生活管理及び保健指導について把握できる。
  - 5) 国の健康増進対策の動向と関連させて、湘南健康推進室の活動内容が理解できる。
2. 湘南健康推進室における看護職の役割について把握し、健康の保持増進のための看護の役割について考えることができる。
3. 自己の日常生活を振り返り、健康について考えることができる。

(2) 実習スケジュール

- |             |                        |
|-------------|------------------------|
| 9:30～10:00  | 実習目標設定（グループで目標を検討する）   |
| 10:00～11:30 | 健康推進センターと湘南健康推進室の概要説明等 |
| 11:30～12:30 | 昼食                     |
| 12:30～16:00 | 健診等の参加                 |
| 16:00～16:30 | カンファレンス                |

(3) その他

- ・資料を熟読して、実習に臨むこと。
- ・大学で貸与するエプロンを持参すること。
- ・施設内ではナースシューズに履き替えること。
- ・名札を忘れないこと。

## 在宅看護実習評価表

学生証番号		実習期間	
氏名		実習場所	
項目	中核目標	行動目標	良 い 通 力 要 努 力
実習目標に沿った学び	1. 在宅で生活する人々や家族の自己決定権を尊重しながら、その人らしい生活を支援していくことの重要性が理解できる。	(1) 在宅療養者と家族の生活を尊重した支援の実際を知る。 (2) 在宅療養者や家族と看護師との援助関係について理解できる。 (3) 在宅療養者と家族の状況を様々な視点から、アセスメントする必要性が理解できる。 (4) 在宅療養者や家族と共に考え、創意工夫しながら看護していくことの必要性が理解できる。 (5) 在宅での看護計画、実践、評価の実際を把握し、在宅看護の特徴が理解できる。 (6) 在宅療養者や家族の自己決定を尊重した関わりの必要性について、考えることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2. 訪問看護実習、外来実習及び保健関連施設実習などの体験をとおして、看護の継続について考えることができる。	(1) 外来看護における病棟や地域との看護の継続について理解できる。 (2) 入退院センターの役割や看護師の活動を見学して、看護の継続について考えることができる。 (3) 訪問看護施設における病院との看護の継続について理解できる。 (4) 看護の継続のために看護師がどのような役割を果たしているか理解できる。 (5) 看護の継続のあり方について考えることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3. 保健医療福祉従事者の相互連携や協働の必要性が理解でき、看護の役割と責任が理解できる。	(1) 地域の保健医療福祉各分野で活躍している人々の活動の実際を知る。 (2) 各実習施設での他職種との相互連携や協働の実際を知る。 (3) 他職種との連携や協働の中での看護の役割と責任について考えることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	4. 実習をとおして自己の人間観、看護観、健康観を育むことができる。	(1) 実習を通して自己の看護観を深め、広げることができる。 (2) 実習を通して自己の日常生活を振り返り、健康について考えることができる。 (3) 実習を通して自分の生き方や死などについて考えを深め、広げることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
実習準備	事前学習	(1) 課題に沿った学習ができています。 (2) 文献が活用できています。 (3) 実習で活用しやすいよう工夫した事前学習ができています。 (4) 既習学習をいかした事前学習ができています。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
記録	日々の記録	(1) 実習目標が具体的に設定できている。 (2) 実習目標、行動計画が必要時、修正できている。 (3) 体験した内容や見学した内容がわかりやすく記載できている。 (4) 実習体験からの自分の考えが述べられている。 (5) 看護師のアドバイスと自分の考えを区別して表現できている。 (6) 実習目標の達成状況と次の日の課題が述べられている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	訪問看護事例 ( )件	(1) 療養者と家族の全体像が把握できている。 (2) 必要な情報が記載できている。 (3) 療養者と家族に対する訪問看護の目的が理解できている。 (4) 訪問看護の実際が具体的に記載できている。 (5) 訪問看護についての自分の考えが述べられている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
記録	レポート	(1) サブテーマに沿った実際の体験が述べられている。 (2) サブテーマに沿って自分の考えが述べられている。 (3) 日々の実習記録を整理した上で、自分の考えが述べられている。 (4) 文献が活用できている。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習態度	学習態度	(1) 積極的に実習に取り組んでいる。 (2) 療養者や家族への配慮ができる。 (3) 実習施設で節度ある行動ができる。 (4) 個人情報の保護に留意できる。 (5) 健康管理に留意して実習できている。 (6) カンファレンスでは積極的に発言し、学習を共有化できる。 (7) アドバイスを謙虚に受け止めることができる。 (8) 実習で充実感が持てている。	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
出席日数	出席( )日 欠席( )日 早退( ) 遅刻( )		
自己評価			
教員評価			評価 S A B C D E
サイン( )			

**【記入方法】**

自己評価は、○で記入し、教員評価は●とする。

# 2013年度 在宅看護実習出席表

東海大学医療技術短期大学 看護学科

学生証番号 \_\_\_\_\_

学生氏名 \_\_\_\_\_

	月日	施設名	指導者印
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

在宅看護実習記録

年 月 日 ( )

学生証番号 ( ) 氏名 ( )

実習場所	指導者氏名
本日の実習目標	主な行動計画
実習状況と振り返り	

(裏面へ)



指導者サイン

訪問先リスト 学生証番号 ( ) 氏名 ( ) No.

実習施設名：			
訪問月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
	疾患・病状：		
訪問月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
	疾患・病状：		
訪問月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
	疾患・病状：		
訪問月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
	疾患・病状：		
訪問月日	事例	訪問目的	見学内容
	No.		
	年齢 性別		
	保険の種類		
	要介護度		
	利用している社会資源：		
	疾患・病状：		

在宅看護事例記録

学生証番号 ( ) 氏名 ( )

実習施設名： 訪問日： 年 月 日 ( )

情報1：1) 年齢、性別、診断名、現在の症状や病状、日常生活動作、手段的日常生活動作、障害老人の日常生活自立度、認知症老人の日常生活自立度 など

2) 使用している保険、介護度、使用しているサービスなど

情報2：家族構成、療養者と家族の人間関係、家族構成員同士の人間関係、主たる介護者、キーパーソンなど

情報3：健康な頃の仕事や生活の状況(仕事、趣味など)

情報4：療養者及び家族の不安や困難と訪問看護師がこの療養者と家族への看護を行なうときに大切にしていること

(裏面へ)

看護の実際 1 : 看護目標、療養者や家族が訪問看護に期待すること

看護の実際 2 : 今回の訪問目的、訪問看護の実際など

【この事例をとおして、療養者や家族を支える訪問看護について考えたこと】